



友 愛

鴨池小学校
学校だより
令和4年3月発行

～鹿児島学習定着度調査結果報告編～

今回、令和4年1月に行われました「令和3年度鹿児島学習定着度調査（対象：5年）」の結果がまとまりましたので概要をお知らせいたします。

この調査は、5年生で学習した内容を中心に、4年生までの内容を含んで、基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等に関する状況、学習に関する意識、学び方などを把握することを目的に行われました。

【学習に関する結果】は、右のレーダーチャートが示すように、全ての教科において県の平均通過率を下回っています。特に、理科は県の通過率との差が大きくなっています。

全体の傾向として、問題文を正しく読み取れないために、字数や条件を満たしていない場合や最後まで読まずに一部分だけ読み判断し解答する傾向もありました。また、各小問題がつながっているのに、1つを間違えると、その大問をすべて間違えていました。

それと、答案用紙を確認すると、書いてある数字等が雑で、途中の計算を間違えたり、位や小数点の位置を間違えたりする児童もいました。

【国語】「漢字の読み書き」「主語・述語・修飾語の関係」「情報の収集」の問題の通過率が低かったです。

【社会】記述式はある程度できていましたが、用語や気候の特色など基礎・基本の問題ができていませんでした。

【算数】計算のミスや分度器の正しい測り方の問題の通過率が低かったです。

【理科】全体的に無答の児童が多く見受けられました。

【今後の取組として】

5年部や教科部ごとに、より詳しく分析を進め、通過率の低い内容については、学年ごとの系統性まで把握し、各学年の年間指導計画に明記し、指導の重点化を図っていきます。5年部では、問題のやり直しと解説を行い、しっかり復習を行い、再度問題に取り組ませます。

学校全体としては、基礎・基本の充実として、例えば、算数の「博士マーク」について、何度も繰り返し指導します。四則演算も正確にできるように反復練習を積み重ねていきます。社会科では重要用語についてまとめたりしていきます。読み取る力については、国語を中心に指導していきますが、どの教科でも、文章を読む際に、中心となる語句や文章に線を引きながら読む活動などを行います。実験や観察を行う理科では、予想を立てから実験等を行い、結果を児童の言葉でまとめる授業を行うなど指導方法の改善を図ります。

さらに、個の実態を把握し、児童一人一人に応じた指導を進めていきます。

今後も、全学年の児童の学力向上のために指導を進めていきますので、御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

各教科の平均通過率



